

平成22年8月期 第2四半期決算短信

平成22年4月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
 コード番号 6255 URL <http://www.npcgroup.net>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画情報部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日
 配当支払開始予定日

(氏名) 隣 良郎
 (氏名) 佐藤 寿

TEL 03-5615-5069

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第2四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第2四半期	6,670	28.7	738	66.9	743	66.5	465	65.3
21年8月期第2四半期	9,353		2,232		2,221		1,341	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第2四半期	26.01	25.06
21年8月期第2四半期	153.07	144.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第2四半期	12,917	7,883	61.0	424.17
21年8月期	14,999	7,462	49.7	851.61

(参考) 自己資本 22年8月期第2四半期 7,883百万円 21年8月期 7,462百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期		0.00		8.00	8.00
22年8月期		0.00			
22年8月期 (予想)				4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,029	20.2	1,205	54.1	1,253	52.2	849	46.1	46.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第2四半期	18,585,120株	21年8月期	8,762,560株
期末自己株式数	22年8月期第2四半期	146株	21年8月期	73株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第2四半期	17,899,228株	21年8月期第2四半期	8,762,559株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、4ページ「定性的情報・財務諸表等3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

2. 平成21年8月31日現在の株主に対し平成21年9月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策の効果及び新興国の経済発展等を背景に、一部に景気の持ち直しの兆しが見られたものの、依然として雇用や所得環境の悪化により個人消費が低調に推移しており、企業の設備投資も低迷しました。

当社グループの主力事業である太陽電池製造装置事業においては、太陽電池システムの世界的な価格下落や、世界各地における太陽電池設置支援政策にも後押しされ、太陽電池の普及は再拡大の様相を呈してきました。

そのような状況下、当社は、短期的には利益率の低下を招くことがあっても、受注を優先させ、売上高の増加に結びつける営業方針を採りました。また、一部の取引先から開発要素が高い案件を受注することで、今後の事業展開における更なる優位性の強化に取り組みました。このような案件に取り組むことは、開発段階においては一時的に原価率押上げの要因となりますが、中長期的には当社の安定的な収益源となるものであると考えております。以上の結果として、受注は最近の市場回復を上回るペースで伸びております。

一方、真空包装機事業においては、主要な市場である食品業界市場が縮小傾向にあることから、真空技術を生かした真空断熱パネル製造装置等の特殊真空包装機の販売を推進してきました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,670,105千円（前年同期比71.3%）、営業利益は738,912千円（同33.1%）、経常利益は743,921千円（同33.5%）、四半期純利益は465,578千円（同34.7%）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(1) 太陽電池製造装置事業

太陽電池製造装置事業においては、当第2四半期連結会計期間に売上計上を予定していた案件の一部を第3四半期以降に売上計上することとなったため、売上高は6,408,237千円（前年同期比70.5%）となりました。また、売上高が期初予想を下回ったこと、及び開発要素の高い案件を受注したことに伴い、製造原価に受注損失引当金273,376千円を計上したことにより、営業利益は1,029,752千円（同40.1%）となりました。

(2) 真空包装機事業

真空包装機事業においては、主要な市場である食品業界の設備投資が低調であります。特殊真空包装機の販売を促進したことで、売上高は261,868千円（前年同期比97.4%）となりました。更に、製造原価削減努力の結果、営業利益は41,840千円（同38.8%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては12,917,830千円となり、前連結会計年度末に比べ2,082,121千円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

① 資産

流動資産につきましては9,119,331千円となり、前連結会計年度末に比べ2,087,108千円の減少となりました。これは主として、現金及び預金の減少1,709,576千円及び仕掛品の減少274,236千円によるものであります。固定資産につきましては3,798,499千円となり、前連結会計年度末に比べ4,986千円の増加となりました。

② 負債

負債につきましては5,034,561千円となり、前連結会計年度末に比べ2,503,165千円の減少となりました。流動負債につきましては5,022,646千円となり、前連結会計年度末に比べ2,502,069千円の減少となりました。これは主として、前受金の減少1,848,237千円及び未払法人税等の減少529,507千円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては7,883,268千円となり、前連結会計年度末に比べ421,043千円の増加となりました。これは主として、利益剰余金の増加395,478千円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ889,624千円減少し、1,366,981千円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は1,552,280千円（前年同期は1,565,038千円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上782,815千円及びたな卸資産の減少247,774千円があった一方で、前受金の減少1,848,237千円及び法人税等の支払837,110千円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により取得した資金は709,442千円（前年同期は3,311,332千円の支出）となりました。これは主として定期預金の解約による収入819,951千円があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は35,140千円（前年同期は34,684千円の支出）となりました。これは、ストックオプションの行使による収入33,920千円があった一方で、配当金の支払69,060千円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月期（平成21年9月1日～平成22年8月31日）通期連結業績につきましては、当社は第2四半期連結累計期間の太陽電池製造装置事業において、短期的には利益率の低下を招くことがあっても、受注を優先させ、売上高の増加に結びつける営業方針を採りました。また、一部の取引先から開発要素が高い案件を受注することで、今後の事業展開における更なる優位性の強化に取り組みました。このような案件に取り組むことは、開発段階においては一時的に原価率押上げの要因となりますが、中長期的には当社の安定的な収益源となるものと考えております。

以上の結果、太陽電池製造装置における受注は最近の市場回復を上回るペースで伸びており、売上高は17,029百万円（前期比120.2%）を見込んでおります。しかしながら、利益につきましては、前述の営業方針により受注した案件が売上計上されることから、期初予想より減少し、営業利益1,205百万円（同45.9%）、経常利益1,253百万円（同47.8%）、当期純利益849百万円（同53.9%）となる見込みであります。

なお、上記数値は平成22年3月30日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容と同一であります。詳細は、下表をご覧ください。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,803	2,108	2,324	1,394	79.58
今回発表予想(B)	17,029	1,205	1,253	849	46.57
増減額(B-A)	1,226	△903	△1,071	△545	—
増減率(%)	7.8	△42.8	△46.1	△39.1	—
(ご参考)前期実績 (平成21年8月期)	14,164	2,626	2,623	1,575	179.84

(注1) 平成21年8月31日現在の株主に対し、平成21年9月1日をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割をしております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行なった場合、前期実績の1株当たり当期純利益は89円92銭となります。

(注2) 上記に記載した数値予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

I 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

II 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

III たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価の切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,666,981	5,376,557
受取手形及び売掛金	1,361,173	1,271,487
商品及び製品	122,740	93,531
仕掛品	3,407,505	3,681,741
原材料及び貯蔵品	141,242	147,657
繰延税金資産	187,528	187,839
その他	241,660	468,939
貸倒引当金	△9,500	△21,315
流動資産合計	9,119,331	11,206,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,945,687	1,939,514
減価償却累計額	△195,695	△150,471
建物及び構築物(純額)	1,749,991	1,789,042
土地	1,429,414	1,429,414
その他	422,507	408,087
減価償却累計額	△207,616	△173,970
その他(純額)	214,891	234,116
有形固定資産合計	3,394,297	3,452,573
無形固定資産	115,432	123,354
投資その他の資産		
その他	289,478	218,287
貸倒引当金	△709	△702
投資その他の資産合計	288,768	217,584
固定資産合計	3,798,499	3,793,512
資産合計	12,917,830	14,999,952

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,273,847	3,471,853
未払法人税等	324,099	853,606
前受金	741,561	2,589,798
受注損失引当金	273,376	110,023
その他	409,761	499,433
流動負債合計	5,022,646	7,524,716
固定負債		
繰延税金負債	11,915	13,011
固定負債合計	11,915	13,011
負債合計	5,034,561	7,537,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,174,962	2,158,002
資本剰余金	2,097,376	2,080,416
利益剰余金	3,645,227	3,249,748
自己株式	△321	△321
株主資本合計	7,917,244	7,487,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△116	—
繰延ヘッジ損益	6,868	105
為替換算調整勘定	△40,727	△25,726
評価・換算差額等合計	△33,975	△25,620
純資産合計	7,883,268	7,462,225
負債純資産合計	12,917,830	14,999,952

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
売上高	9,353,911	6,670,105
売上原価	6,163,043	4,856,744
売上総利益	3,190,868	1,813,361
販売費及び一般管理費	958,816	1,074,448
営業利益	2,232,051	738,912
営業外収益		
受取利息	9,162	7,161
受取配当金	2	—
その他	11,008	6,250
営業外収益合計	20,173	13,411
営業外費用		
支払利息	152	—
支払手数料	8,051	6,298
為替差損	22,243	2,014
その他	58	90
営業外費用合計	30,505	8,402
経常利益	2,221,718	743,921
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11,041	11,238
補助金収入	—	34,256
特別利益合計	11,041	45,494
特別損失		
特別退職金	—	6,600
特別損失合計	—	6,600
税金等調整前四半期純利益	2,232,760	782,815
法人税、住民税及び事業税	955,907	322,616
法人税等調整額	△64,467	△5,379
法人税等合計	891,440	317,237
四半期純利益	1,341,320	465,578

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,232,760	782,815
減価償却費	67,642	97,286
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,568	△11,576
受注損失引当金の増減額(△は減少)	17,745	163,353
受取利息及び受取配当金	△9,164	△7,161
支払利息	152	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,850	△92,427
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,140,016	247,774
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,404,011	△196,013
前受金の増減額(△は減少)	△1,291,490	△1,848,237
その他	274,461	146,439
小計	2,022,692	△717,746
利息及び配当金の受取額	5,258	2,575
利息の支払額	△152	—
法人税等の支払額	△462,760	△837,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,565,038	△1,552,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,603,012	—
定期預金の払戻による収入	126,342	819,951
有形固定資産の取得による支出	△778,752	△28,453
無形固定資産の取得による支出	△39,810	△12,541
その他	△16,099	△69,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,311,332	709,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△94	—
ストックオプションの行使による収入	—	33,920
配当金の支払額	△34,589	△69,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,684	△35,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42,342	△11,645
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,823,320	△889,624
現金及び現金同等物の期首残高	4,879,272	2,256,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,055,951	1,366,981

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

	太陽電池製造 装置事業 (千円)	真空包装機 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,084,988	268,923	9,353,911	—	9,353,911
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,084,988	268,923	9,353,911	—	9,353,911
営業利益	2,566,416	10,761	2,577,178	△345,126	2,232,051

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業内容を勘案して次のとおり区分しております。

- (1) 太陽電池製造装置事業 —— 太陽電池製造装置の開発製造及び販売に関する事業
(2) 真空包装機事業 —— 真空包装機の開発製造及び販売に関する事業

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 太陽電池製造装置事業の主要製品
セルテスター、セル自動配線装置、真空ラミネーター、モジュールテスター、
薄膜モジュール製造ライン等

- (2) 真空包装機事業の主要製品
小型卓上式真空包装機、テーブル式真空包装機、連続自動式真空包装機等

当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年2月28日)

	太陽電池製造 装置事業 (千円)	真空包装機 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,408,237	261,868	6,670,105	—	6,670,105
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,408,237	261,868	6,670,105	—	6,670,105
営業利益	1,029,752	41,840	1,071,593	△332,680	738,912

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業内容を勘案して次のとおり区分しております。

- (1) 太陽電池製造装置事業 —— 太陽電池製造装置の開発製造及び販売に関する事業
(2) 真空包装機事業 —— 真空包装機の開発製造及び販売に関する事業

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 太陽電池製造装置事業の主要製品
セルテスター、セル自動配線装置、真空ラミネーター、モジュールテスター、
薄膜モジュール製造ライン等

- (2) 真空包装機事業の主要製品
小型卓上式真空包装機、テーブル式真空包装機、連続自動式真空包装機等

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,220,026	73,067	60,818	9,353,911	—	9,353,911
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	130,513	123,858	125,990	380,362	△380,362	—
計	9,350,539	196,926	186,808	9,734,274	△380,362	9,353,911
営業利益	2,449,439	88,151	31,186	2,568,777	△336,725	2,232,051

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

北米：米国

欧州：ドイツ

当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年2月28日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,525,491	54,045	90,568	6,670,105	—	6,670,105
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	112,267	95,207	37,657	245,132	△245,132	—
計	6,637,759	149,253	128,226	6,915,238	△245,132	6,670,105
営業利益又は営業損失(△)	1,042,658	46,601	△9,517	1,079,742	△340,829	738,912

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

北米：米国

欧州：ドイツ

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

	欧州・アフリカ	アジア	北中南米	その他	計
I 海外売上高(千円)	1,688,939	2,244,834	5,047,814	4,764	8,986,352
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	9,353,911
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.1	24.0	54.0	0.0	96.1

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域

(1) 欧州・アフリカ：ドイツ、フランス、スペイン、チェコ、ハンガリー、オランダ、南アフリカ等

(2) アジア：中国、韓国、台湾、タイ、インド、フィリピン等

(3) 北中南米：米国、メキシコ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年2月28日)

	欧州・アフリカ	アジア	北中南米	その他	計
I 海外売上高(千円)	546,418	3,504,419	2,141,186	2,190	6,194,215
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	6,670,105
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.2	52.6	32.1	0.0	92.9

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域

(1) 欧州・アフリカ：ドイツ、フランス、スペイン、チェコ、ハンガリー、オランダ、南アフリカ等

(2) アジア：中国、韓国、台湾、タイ、インド、フィリピン等

(3) 北中南米：米国、メキシコ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日) (千円)	前年同四半期比 (%)
太陽電池製造装置事業	5,341,889	88.0
真空包装机事業	368,613	141.5
合計	5,710,502	90.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
太陽電池製造装置事業	9,142,841	167.4	10,177,118	129.9
真空包装机事業	376,467	127.9	161,687	233.5
合計	9,519,308	165.4	10,338,805	130.8

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日) (千円)	前年同四半期比 (%)
太陽電池製造装置事業	6,408,237	70.5
真空包装机事業	261,868	97.4
合計	6,670,105	71.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。